

第5節 健康増進課

〔総括概要〕

健康増進課の主な事業は、健康診査事業、予防接種事業、新型インフルエンザ等対策事業、救急医療対策事業、子育て世代包括支援センター事業、母子保健事業、栃木市健康増進計画推進事業、健康づくり事業である。

健康診査事業では、集団検診での基本健診と各種がん検診等実施のほか、個別検診では子宮がん検診、乳がん検診、歯周病検診及び口腔がん検診を実施した。

また、特定健康診査受診券やがん検診無料クーポン券等を個人ごとにまとめた「けんしんパスポート」及び集団検診の日程や内容等をお知らせする「けんしんガイドブック」を世帯ごとに郵送したほか、検診受診に対する意欲向上を図るため「健康マイレージ事業」を実施するなど、受診率向上に努めた。

予防接種事業では、感染症予防及びまん延防止のため、乳幼児等に対する各種予防接種、高齢者に対するインフルエンザ及び肺炎球菌感染症予防接種を実施し、任意接種の小児インフルエンザ、おたふくかぜ、ロタウイルス感染症について接種費用の助成を行ったほか、国の追加的対策事業として、昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性に対し、風しんの抗体検査及び第5期風しん予防接種のクーポン券を送付し抗体検査の受診勧奨を行った。

また、携帯電話やスマートフォン等で利用できる「とち介の予防接種ナビ」の実施により接種間隔錯誤や接種忘れの防止に努めた。

更に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対策本部を設置し対応するとともに、感染防止について市民に啓発を行った。

救急医療対策事業では、初期救急医療体制及び二次救急医療体制の確保に努めたほか、市有施設に配置した自動体外式除細動器（AED）を適切に管理した。

子育て世代包括支援センター事業では、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、母子健康手帳交付及び面接、生後2週間目全戸電話相談、訪問等による個別相談を実施した。更に、発達障害、児童虐待、DV、子どもの貧困等複合的な課題を抱える家庭に対し、関係機関との連携を図るため、すこやか子育てサポート会議や妊産婦乳児虐待予防会議、多機関連携による家庭支援のための学校等訪問相談を実施した。

母子保健事業では、母性及び乳幼児、児童生徒の健康の保持増進を図るため、妊婦・乳幼児健康診査、各種教室や相談、訪問指導、小・中学校と連携した思春期保健教育を行ったほか、発達障がい等の早期発見、発達・育児支援を目的に乳幼児発達相談を実施した。

栃木市健康増進計画推進事業では、生活習慣に課題を抱えている人が多い壮年期への健康づくりとして、企業にて栄養・運動等の健康教育を実施した。

健康づくり事業では、生活習慣病の発症・重症化予防のため、特定保健指導や運動、栄養等に関する相談及び健康教育事業を実施した。

管理係

- 1 市民健康まつり開催事業（令和元年東日本台風による大雨被害のため中止）
 - ・開催予定日 11月24日（日）
- 2 岩舟健康福祉まつり開催事業（令和元年東日本台風による大雨被害のため中止）
 - ・開催予定日 10月20日（日）

3 各地域での健康啓発事業

各地域におけるイベントに参加し健康啓発を行った。

(1) 第26回ふれあい健康福祉まつり

- ・実施日 5月26日（日）
- ・会場 大平健康福祉センター（ゆうゆうプラザ）他

番号	実施内容	参加者（人）
1	献血	35
2	食育コーナー	191
3	骨密度測定	112
4	歯の健康コーナー	38
5	体脂肪率・筋肉量チェック	113
6	健康クイズ	113

(2) ど田舎にしかた祭り

- ・実施日 12月8日（日）
- ・会場 道の駅にしかた及びうらの田んぼ

実施内容	参加者（人）
健康あっぷ啓発グッズ配布	120

4 献血推進事業

血液製剤の安定供給確保のため、献血事業を行った。

実施日数 （日）	受付 （人）	200ml献血 （人）	400ml献血 （人）	献血者計 （人）	不適格者 （人）
3	301	16	242	258	43

5 骨髄移植ドナー支援事業

骨髄又は末梢血管細胞を提供した方（ドナー）の負担を軽減し、骨髄移植の推進及びドナー登録者の増加を図るため、ドナーとその方の勤務する事業所に対し、助成金を交付した。

- ・交付実績（単位：件）

ドナー	事業所
7	2

6 保健福祉センター利用状況（利用延べ人数）

(1) 栃木保健福祉センター (単位：人)

区 分	大会議室	検診ホール	集会室	その他	合 計
利用者数	6,073	14,182	367	7,548	28,170

(2) 藤岡保健福祉センター (単位：人)

区 分	会議室	検診ホール	調理実習室	合 計
利用者数	5,707	3,416	946	10,069

(3) 都賀保健センター (単位：人)

区 分	会議室	和室	調理室	その他	合 計
利用者数	5,029	343	120	2,554	8,046

(4) 西方保健センター (単位：人)

区 分	機能訓練室	診察室	調理実習室	研修室	講和室	合 計
利用者数	360	180	0	185	180	905

地域医療対策係

1 救急医療対策事業

(1) 初期救急医療

栃木地区急患センター

- ・管理運営 栃木市医師会（指定管理者）

ア 休日・夜間診療

- ・診療時間 休日………午前9時～午後9時 内科・外科

平日夜間…午後7時～午後10時 内科

日数（日）	延べ患者数（人）
365	5,698

イ 小児救急医療

- ・診療時間 日曜日 午後6時～午後9時

日数（日）	延べ患者数（人）
53	699

(2) 二次救急医療

ア 病院群輪番制病院運営等補助事業

病院群輪番制に参加する2病院（とちぎメディカルセンターしもつが、獨協医科大学病院）に対し、その運営を支援するため補助金を交付した。

利 用 施 設	日数（日）	延べ患者数（人）
病院群輪番制病院(2病院)	366	10,357

栃木医療圏の救急告示病院（藤沼医院、多島外科胃腸科、とちぎメディカルセンターとちのき）に対し、二次救急を確保するため、救急車受入件数に応じ補助金を

交付した。

利 用 施 設	件数 (件)
救急告示病院 (3施設)	480

イ 小児二次救急医療

小児二次救急医療機関に対し、その運営を支援するため補助金を交付した。

利 用 施 設	日数 (日)	延べ患者数 (人)
獨協医科大学病院	366	2,092

2 地域医療対策基金積立事業

(単位：円)

平成 30 年度末現在高	積立金額	繰出金額	令和元年度末現在高
22,117,296	0	1,752,000	20,365,296

3 とちぎメディカルセンター運転資金貸付事業

- ・貸付名称 とちぎメディカルセンター運転資金貸付金
- ・用 途 とちぎメディカルセンターが開設するしもつがの運営に要する運転資金
- ・貸付金額 5億円
- ・貸付期間 4月1日から3月31日

4 自動体外式除細動器 (AED) 貸出事業

市内で開催される各種行事において、参加者が心肺停止状態に陥った際の救急救命活動に備えるため、主催する団体へ自動体外式除細動器 (AED) の貸出しを行った。

- ・貸出申請件数 27件

5 自動体外式除細動器 (AED) 整備事業

市内公共施設に設置された79台のほか、市内コンビニエンスストアに設置された10台のAEDについても適切に管理した。

予防係

1 予防接種事業

小児の感染症予防及びまん延防止のため、予防接種法に基づく定期接種並びに任意接種の小児インフルエンザ、おたふくかぜ及びロタウイルス感染症予防接種を実施し、高齢者の感染症予防として、インフルエンザ及び肺炎球菌感染症予防接種を実施した。

また、国の追加的対策事業として一定世代の成人男性に対し、風しんの抗体検査及び予防接種を実施した。

(1) 定期接種

ア ヒブ感染症

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施

- ・対象 生後2月から生後60月に至るまでの間にある者
- ・回数 (開始月齢により異なる。)
 - 生後 2月から 7月に至るまで：4回 (初回3回、追加1回)
 - 生後 7月から12月に至るまで：3回 (初回2回、追加1回)
 - 生後12月から60月に至るまで：1回

・接種状況

	勧奨対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
初回 1回目	906	888	98.0
初回 2回目		911	100.6
初回 3回目		896	98.9
追加		973	107.4

イ 小児の肺炎球菌感染症

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後2月から生後60月に至るまでの間にある者
- ・回数 (開始月齢により異なる。)
 - 生後 2月から 7月に至るまで：4回 (初回3回、追加1回)
 - 生後 7月から12月に至るまで：3回 (初回2回、追加1回)
 - 生後12月から24月に至るまで：2回
 - 生後24月から60月に至るまで：1回

・接種状況

	勧奨対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
初回 1回目	906	898	99.1
初回 2回目		918	101.3
初回 3回目		914	100.9
追加	998	997	99.9

ウ B型肝炎

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 1歳に至るまでの間にある者
- ・回数 3回
- ・接種状況

	勧奨対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
1回目	906	902	99.6
2回目		920	101.5
3回目		942	104.0

エ BCG (結核)

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施

- ・対象 1歳に至るまでの間にある者
- ・回数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
906	978	107.9

オ 四種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ）

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後3月から生後90月に至るまでの間にある者
- ・回数 1期初回 20日以上の間隔で3回
1期追加 1期初回終了後、約1年～1年半経過した時期に1回
- ・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1期初回 1回目	906	919	101.4
1期初回 2回目		922	101.8
1期初回 3回目		986	108.8
1期追加		996	109.9

カ 急性灰白髄炎（ポリオ）

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後3月から生後90月に至るまでの間の、ポリオワクチン接種の必要回数（4回）を終了していない者
（生ポリオ2回終了した者は除く）
- ・回数 1期初回 20日以上の間隔をおいて3回
1期追加 1期初回終了後、約1年～1年半経過した時期に1回
- ・ポリオは四種混合に含まれているため、接種が必要となる場合は、三種混合を受けていた場合のみ
- ・接種状況

	被接種者数（人）
1期初回 1回目	0
1期初回 2回目	1
1期初回 3回目	1
1期追加	7

キ 麻しん・風しん（混合）

(ア) 1期

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後12月から生後24月に至るまでの間にある者
- ・回数 1回

・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
998	979	98.1

(イ) 2期

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 5歳～7歳未満の者で、小学校就学の始期に達する日の1年前の日から当該始期に達する日の前日までの間にある者（幼稚園・保育園等の年長児相当）
- ・回数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1,164	1,122	96.4

ク 水痘

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後12月から生後36月に至るまでの間にある者
- ・回数 3月以上の間隔をおいて2回
- ・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	998	1,009	101.1
2回目		914	91.6

ケ 日本脳炎

(ア) 1期初回

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後6月から生後90月に至るまでの間にある者及び予防接種法で定める特例対象者
- ・回数 6日以上の間隔で2回
- ・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	1,121	1,149	102.5
2回目		1,157	103.2

(イ) 1期追加

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 1期初回接種終了後おおむね1年経過した生後90月未満の者及び予防接種法で定める特例対象者
- ・回数 1回

・接種状況

勸奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1,121	1,258	112.2

(ウ) 2期

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 9歳以上13歳未満の者及び予防接種法で定める特例対象者で、1期接種3回を終了している20歳未満の者
- ・回数 1回
- ・接種状況

勸奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
2,536	1,768	69.7

コ 二種混合（ジフテリア・破傷風）

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 11歳以上13歳未満の者（小学校6年生）
- ・回数 1回
- ・接種状況

勸奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1,362	1,189	87.3

サ ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん予防）

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 小学校6年生から高校1年生相当年齢の女子
※平成25年6月14日から積極的接種勧奨を中止している。
- ・回数 3回
- ・接種状況

	被接種者数（人）
1回目	8
2回目	7
3回目	3

シ 高齢者インフルエンザ

- ・実施期間 10月1日～2月29日
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 ①65歳以上の希望者
②60歳から65歳未満の者であって、心臓・腎臓・呼吸器の機能に自己の身の日常生活行動が極度に制限される程度の障がいをする者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいをする者で、接種を希望する者

- ・回数 年度内1回
- ・助成額 3,500円
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
49,559	28,549	57.6

（対象者数は65歳以上の人数）

ス 高齢者の肺炎球菌感染症

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 ①年度末年齢65歳の希望者
②60歳から65歳未満の者（高齢者インフルエンザと同じ）
③年度末年齢70、75、80、85、90、95、100歳の希望者
※過去に接種歴のある者は対象外
- ・回数 生涯1回
- ・助成額 5,700円
- ・接種状況

(7) 対象者中①に該当する者

勸奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
2,502	1,235	49.4

(イ) 対象者中②及び③に該当する者

被接種者数（人）
149

セ 風しん追加的対策

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施、集団検診・職場検診で集団実施
- ・対象 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日に生まれた男性
※昭和47年4月2日から昭和54年4月1日に生まれた男性にクーポン券を送付
- ・回数 抗体検査、予防接種ともに生涯1回
- ・実施状況 （実施数は令和2年2月分まで）

(7) 昭和47年4月2日から昭和54年4月1日に生まれた男性

	勸奨対象者数（人）	実施数（人）	実施率（％）
抗体検査	8,451	1,769	20.9
予防接種		510	6.0

(イ) 昭和37年4月2日から昭和47年4月1日に生まれた男性

	実施数（人）
抗体検査	196
予防接種	46

(2) 任意予防接種

ア 小児インフルエンザ

- ・実施期間 10月1日～2月29日
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対 象 生後6月から小学校就学前の小児の希望者
- ・回 数 年度内に2回まで
- ・助 成 額 1回あたり2,500円
- ・延べ被接種者数 8,949人

イ おたふくかぜ

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対 象 生後12月から小学校就学前の小児の希望者
- ・回 数 生涯2回
- ・助 成 額 3,600円
- ・延べ被接種者数 1,469人

ウ ロタウイルス感染症

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施

(ア) 1価ワクチン

- ・対 象 生後6週から生後24週までの間にある者の希望者
- ・回 数 4週間以上の間隔をおいて2回
- ・助 成 額 1回あたり7,600円
- ・延べ被接種者数 1,272人

(イ) 5価ワクチン

- ・対 象 生後6週から生後32週までの間にある者の希望者
- ・回 数 4週間以上の間隔をおいて3回
- ・助 成 額 1回あたり5,300円
- ・延べ被接種者数 268人

(3) 風しん予防対策事業

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対 象 次のいずれかに該当する方
 - ①妊娠を希望している女性およびその配偶者
 - ②妊娠している女性の配偶者

ア 風しん抗体検査

- ・回 数 1回
- ・助 成 額 2,000円
- ・受診者数 47人

イ 風しん予防接種

- ・回 数 1回
- ・助 成 額 3,000円

- ・被接種者数 29人
- ウ 麻しん風しん混合予防接種
- ・回数 1回
 - ・助成額 5,000円
 - ・被接種者数 150人

2 とち介の予防接種ナビ事業

携帯電話やスマートフォン等から利用できる予防接種スケジュール自動作成機能や接種予定日を知らせるアラート機能を有したサービスを実施した。これにより、予防接種の間隔錯誤や接種忘れの防止に努めた。

- ・登録者数 4,458人

3 感染症予防啓発事業

(1) 広報とちぎへの掲載

記事内容	掲載時期
風しん抗体検査の実施	5, 7, 11, 4月号
H I V抗体検査、性感染症検査の実施	12月号
季節性インフルエンザの予防	12月号
新型コロナウイルス感染症の予防	4月号

(2) 市ホームページへの掲載

H I V抗体検査・性感染症検査の実施、ノロウイルス予防、季節性インフルエンザ予防、風しん注意喚起、麻しん注意喚起、海外の感染症予防、食中毒予防、新型コロナウイルス感染症予防

4 新型インフルエンザ等対策事業

- (1) 新型インフルエンザ等が大流行した場合に必要な備蓄品の管理及び補充
- (2) 新型コロナウイルス感染症への対応として、対策本部を設置し感染拡大防止の対策を講じた。

ア 栃木市健康危機対策本部会議の開催

第1回	1月31日(金)	第2回	2月23日(日)	第3回	2月25日(火)
第4回	2月28日(金)	第5回	3月6日(金)	第6回	3月23日(月)
第7回	3月25日(水)				

イ 栃木市新型コロナウイルス感染症対策本部会議の開催

国、県が3月26日に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置したことに伴い、市においても栃木市健康危機対策本部から移行し、栃木市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置した。

- ・第1回 3月27日(金)

検診係

1 集団検診実施状況

- ・ 集団検診実施回数 102回
- ・ 集団検診実施場所 各保健センター、各公民館等

2 基本健診受診者数

(単位：人)

健診区分	特定健康診査(国保)	特定健康診査(社保等)	後期高齢者健康診査	ヤング健康診査	健康診査	合計
集団	7,150	1,664	2,729	1,086	40	12,669
個別	1,576	-	2,037	-	-	3,613
合計	8,726	1,664	4,766	1,086	40	16,282

3 がん検診等事業

(1) がん検診

区分	実施回数(回)	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要精検(人)	精検不要(人)	判定不能(人)
胃がん	99	49,966	5,874	11.8	4,595	516	763	0
肺がん	102	49,966	11,370	22.8	7,112	431	3,827	0
大腸がん	102	49,966	10,614	21.2	10,047	567	0	0
前立腺がん	72	19,502	4,512	23.1	4,081	431	0	0
子宮がん(頸)	101	35,732	4,754	19.3	4,576	82	96	0
	(医療機関)		2,156		2,022	73	61	0
子宮がん(体)	(医療機関)	35,732	727	2.0	723	4	0	0
乳がん	101	33,420	7,203	21.7	4,317	229	2,657	0
	(医療機関)		39		30	8	1	0

(2) 肝炎ウイルス検診

区分	受診者数(人)	要精検(人)
B+C型	1,063	3
B型のみ	10	0
C型のみ	1	0

(3) 骨粗しょう症検診

年齢	項目	対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	結果内訳(人)		
					正常範囲	要指導	要精検
20・25歳女		1,404	9	0.6	7	2	0
30・35歳女		1,513	106	7.0	77	29	0
40歳女		935	96	10.3	74	18	4
45歳女		1,097	101	9.2	76	23	2
50歳女		966	100	10.4	73	26	1

55歳女	947	119	12.6	57	48	14
60歳女	1,024	144	14.1	41	77	26
65歳女	1,261	257	20.4	59	124	74
70歳女	1,568	372	23.7	62	193	117
60歳男	1,047	40	3.8	17	19	4
65歳男	1,244	96	7.7	44	36	16
70歳男	1,488	209	14.0	92	71	46
計	14,494	1,649	11.4	679	666	304

(4) ABC検査

項目 年齢	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要精検(人)			
					A群	B群	C群	D群
40歳	1,931	117	6.1	101	9	6	1	
45歳	2,360	88	3.7	77	8	1	2	
50歳	2,066	69	3.3	59	5	4	1	
55歳	1,949	55	2.8	44	3	7	1	
60歳	2,071	65	3.1	53	6	4	2	
65歳	2,505	126	5.0	81	27	10	8	
70歳	3,056	136	4.5	84	25	19	8	
計	15,938	656	4.1	499	83	51	23	

(5) 歯周病検診

区分	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要指導(人)	要精検(人)
20歳	1,517	6	0.4	0	2	4
25歳	1,498	4	0.3	1	0	3
30歳	1,500	13	0.9	0	4	9
35歳	1,723	16	0.9	1	4	11
40歳	1,931	130	6.7	7	16	107
45歳	2,360	150	6.4	9	19	122
50歳	2,066	129	6.2	6	16	107
55歳	1,949	147	7.5	4	22	121
60歳	2,071	154	7.4	7	12	135
65歳	2,505	265	10.6	13	23	229
70歳	3,056	272	8.9	22	15	235
76歳	2,121	229	10.8	19	21	189
計	24,297	1,515	6.2	89	154	1,272

(6) 口腔がん検診

区分	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	口腔がん所見(人)	他の所見(人)
50歳～59歳	19,600	242	1.2	217	3	22
60歳～69歳	23,765	327	1.4	302	3	22

70歳～76歳	16,904	299	1.8	265	1	33
計	60,269	868	1.4	784	7	77

4 けんしんパスポート、けんしんガイドブック送付事業

受診率向上のため、個人ごとに受診券や無料クーポン券などをまとめた「けんしんパスポート」を、世帯に一冊の集団検診日程や内容、予約方法などを記載した「けんしんガイドブック」とともに送付した。

- ・対象 20歳以上の全市民
- ・発送時期 5月下旬
- ・対象者数 136,555人 65,807世帯
- ・集団検診予約受付

予約方法	電話・窓口	ファックス	インターネット	合計
受付数(件)	11,738	1,308	3,867	16,913
割合(%)	69.4	7.7	22.9	

5 健康マイレージ事業

市民が自らの健康保持増進に関心を持ち、健(検)診の受診や健康づくりに積極的に取り組むためのインセンティブとして、健康マイレージ事業を実施した。

- ・対象 20歳以上の全市民
- ・実施方法 けんしんパスポートに、ポイントカード及び参加方法の説明を綴り、全対象者に配布
参加者全員にサポートカードを発行(サポート店:38件)
参加者の中から抽選で600人に記念品等を送付
- ・参加状況及び抽選結果 (単位:人)

区分	参加者数	記念品当選者数	商品券当選者数
男性	418	199	44
女性	594	301	56
合計	1,012	500	100

子育て世代包括支援センター係

1 子育て世代包括支援センター事業

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付(各総合支所分を含む)

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行った。また、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるためのものとして、妊娠の届出をした者等に対し、窓口において母子健康手帳の交付を行った。その際、妊娠・出産についてのアンケート及び個別面接を実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じ、相談対応を行った。また、県南地区統一のリスクアセスメントシートをもとに係内で要支援ケースカンファレンスを実施し、特に支援が必要な妊婦への支援

方針を検討し安心して出産が迎えられるよう支援した。

・受理及び交付状況

(単位：人)

妊娠届出数	母子健康手帳交付数				
		妊娠届出	双胎	紛失等	海外からの転入
918	1,016	918	9	68	21

・要支援ケースカンファレンス実施回数 41回

・要支援ケースカンファレンス検討者数 317人

(2) 健康相談・支援

ア 生後2週間目全戸電話相談

出産を終えて退院後の不安を抱きやすい時期に、子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して助言指導するために、保健師及び非常勤助産師による電話相談を行った。

・対象者数 885人

・実施数 883人

・実施率 99.8%

イ 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して助言指導するために、保健師及び非常勤・在宅助産師による訪問指導を行った。

・訪問指導状況 (単位：人)

	訪問実数	訪問延べ数
市内在住者	152	192
他市町からの里帰り	12	12
計	164	204

ウ 低体重児の届出・未熟児訪問指導

体重が2,500グラム未満の児が出生した場合、保護者からの届出を受け、児の発達状況や家庭環境に応じた適切な養育指導を行うため、保健師や非常勤・在宅助産師が訪問を実施し、児の健全な発育・発達を促した。

・届出数 103件

・訪問件数 7件

エ 個別相談

妊娠期から子育て期にわたるまでの育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、電話や面接、訪問による相談を実施した。

・相談実施状況 (単位：人)

	面接	電話	訪問	計
妊婦	41	73	28	142
産婦	209	226	106	541
乳児	270	213	108	591
幼児	29	25	3	57
学童以上	166	176	51	393

その他	5	40	18	63
計	720	753	314	1,787

オ 子育てサポートプランの作成

複合的な課題を抱える世帯に対して、関係機関が支援の方法や支援体制を共通理解して、継続的に支援が行えるよう、プランを作成した。

- ・作成数 13件(乳児：3件 幼児：7件 学童以上：3件)

(3) 関係機関との連携

ア すこやか子育てサポート会議

複合的な課題を抱える世帯に対して、関係機関が連携して支援していくために、情報交換及び支援方針等の検討を行った。

- ・開催数 11回
- ・検討世帯数(延べ) 31件

イ 妊産婦乳児虐待予防会議

妊娠届時や妊産婦訪問、生後2週間目全戸電話相談等、産前産後や乳児期において、保護者の支援が必要と把握されたケースについて、虐待の危険性の有無を判断し、今後の支援の方針等の検討を行った。

- ・開催数 13回
- ・検討世帯数(延べ) 13件
- ・報告世帯数(延べ) 19件

ウ 多機関連携による家庭支援のための学校等訪問相談事業

複合的な課題を抱える家庭に対して、適切な福祉的支援につなげていくために、学校等関係機関から聞き取りを行うため、訪問を実施した。

- ・学校訪問実施回数 3回

エ 子育て世代包括支援センター事業に係る関係機関連絡会議

関係機関との連携体制の構築を図るため、子育て世代包括支援センター(すこやか子育て相談室)の実績や課題等を共有し意見交換を行った。

- ・開催数 3回
- ・関係機関参加者(延べ) 18人

2 産後ケア事業

核家族化の進展や出産年齢の高齢化、地域のつながりの希薄化の中で家族等から出産後の支援が得られない産婦が増加しており、産後うつをはじめとしたメンタルヘルスの問題等が顕在化してきている。このような中、産後も安心して子育てができる支援体制を確保するため、産後4か月未満で支援を必要とする母子に対し、心身のケア、育児のサポート等を行う産後ケア事業を実施した。

- ・利用状況 (単位：人)

利用者数		利用内訳							
	計	1日/ 泊	2日/ 泊	3日/ 泊	4日/ 泊	5日/ 泊	6日/ 泊	7日/ 泊	8日/ 泊以上

通所	6	6	0	0	0	0	0	0	0
宿泊	16	6	7	1	1	0	0	0	1

母子保健係

1 母子保健事業

(1) 健康診査

ア 妊産婦健康診査

妊産婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき妊婦健康診査14回と産婦健康診査2回の受診票を交付し、妊産婦の健康管理の向上を図った。

(母子健康手帳交付時に受診票を配付、医療機関に委託して実施)

・妊婦健康診査受診状況 (単位：人)

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	
受診者数	895	892	878	858	862	839	838	
回数	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目	計
受診者数	862	832	786	830	637	406	200	10,615

・産婦健康診査受診状況

回数	1回目 (産後2週間目)	2回目 (産後1か月目)	計
受診者数	680	865	1,545

イ 妊産婦歯科健康診査

妊産婦を対象に口腔衛生の向上を図るため、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
994	363	36.5

ウ 乳幼児健康診査

乳幼児の健康増進及び疾病の早期発見を目的に健康診査を実施し、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導や親同士の交流により、育児不安の軽減を図った。1歳6か月児及び3歳児健診においては、心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談に応じた。更に3歳児健診では眼科疾患早期発見のため、屈折検査を導入した。

・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

区分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
4か月児	27	848	826	97.4	135	32	6	18
9か月児	29	983	958	97.5	167	43	3	30
1歳6か月児	31	941	907	96.4	321	21	0	32
3歳児	31	1,041	1,024	98.4	185	30	16	245

エ 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見とう歯予防知識の普及を目的に、歯科健康診査及び歯科衛生士によるブラッシング指導・フッ素ジェル体験を行った。また、保健師による育児相談を行った。

・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	う歯のある児 (人)
26	960	889	92.6	23 (2.6%)

オ 乳幼児発達相談（二次健診）

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において成長発達の遅れが疑われた児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者への育児支援を行った。

・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

開催回数 (回)	受診児数 (人)			結果内訳 (人)		
	初診	継続	計	今回のみ指導	再診	要治療・要精 検
21	66	39	105	81	19	5

カ 乳児先天性股関節脱臼検診

3～4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	結果内訳 (人)		
			異常なし	要経過観察	要治療
920	852	92.6	830	20	2

キ 新生児聴覚検査

聴覚障がいを見出し、早期に医療及び療育につなげることで適切な言語の取得を促すとともに、成長発達への影響を最小限に抑えることを目的に検査を行った。

対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)
885	884	99.9

(2) 健康教育

ア 両親（母親）教室

妊婦、夫及び妊婦の支援者に対して、妊娠、分娩等の知識を提供するとともに、夫の妊婦擬似体験やお風呂の入れ方等の体験学習を行った。また、先輩ママを招き、出産や育児の体験談を聞き、乳児に触れ合うことにより、親になる自覚を促した。

・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

・実施数 栃木11回 大平10回 合計21回

・参加者 (単位：人)

妊婦	夫	祖父母等	先輩ママ
141	108	16	19

イ ビよびよ交流会

出生数の少ない（都賀地域、西方地域、藤岡地域）に居住する乳児と保護者に対して交流会を開催し、親子の繋がりを築き、子育ての悩みを共有できるよう支援するとともに、地域の子育て情報を提供した。

- ・会場 都賀保健センター、藤岡保健福祉センター
- ・実施回数 5回
- ・参加者延べ数 58組

ウ にここ教室

児の発達や関わり方に悩みを持つ保護者に対し、専門職による発達の見立てや個別相談を通して、育児支援を行った。

- ・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター
- ・実施回数 11回
- ・参加者延べ数 34人

エ 思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情や自己決定能力を高めていくため、小学生と中学生を対象に、性（生）教育の授業協力及び講演会を行った。

- ・授業協力

対象	実施回数 (回)	参加人数（人）	
		児童・生徒	保護者
小学校	2	68	0
中学校	9	1,065	19

オ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の読み聞かせと絵本の配布を行った。

- ・実施回数 29回（9か月児健康診査時）
- ・参加者延べ数 958組

カ 出前講座

地域住民や施設等からの要望に基づき、子どもの病気や小児生活習慣病を予防するための健康講話を開催した。

- ・実施回数 4回
- ・参加者延べ数 155人

(3) 健康相談

ア 子育て相談

育児に関する相談及び指導を行うとともに親子の交流を図った。

- ・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター、
岩舟健康福祉センター
- ・実施回数 14回

- ・参加者延べ数 333組

イ 母乳相談

母乳育児を希望する保護者に対し、助産師が個別相談を通して乳房トラブル等の対応方法について助言指導を行った。

- ・会場 栃木保健福祉センター
- ・実施回数 11回
- ・参加者延べ数 77組

ウ 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい高機能自閉症等の発達障がいの早期発見及び支援を行うことにより、幼児の健全育成を図るため、年中児を対象に、市内認定こども園、保育園及び栃木保健福祉センターにおいて発達相談を行った。

- ・実施状況 (単位：人)

受診数	結果内訳				
	異常なし	要観察	既医療・既療育	要精密検査	療育機関等紹介
1,198	928	78	57	21	114

エ のびのび相談

乳幼児健診及び相談・家庭訪問等において発達の問題や強い育児不安が見られた保護者に対して、心理職が個別相談に応じることで児の健全な発達を促し育児支援を行った。

- ・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター
- ・実施回数 16回
- ・参加者延べ数 36人

オ こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、親子の心身の状況や養育環境の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭に対し、その適切なサービス提供に結びつけることを目的に、保健師、母子保健推進員が家庭訪問を行った。

- ・訪問実数 886件
- ・訪問延べ数 987件

(4) 歯科保健事業

ア フッ化物塗布事業

歯と口の健康週間行事の一環として、歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図るため、下都賀歯科医師会と栃木市、壬生町で共催して、小学1年生と年長児を対象にフッ化物塗布及び歯科医師による講演、歯の健康相談を行った。(年1回)

- ・フッ化物塗布者数 (単位：人)

小学1年生	年長児	合計
221	261	482

イ よい歯のコンクール

口腔衛生の普及及び向上を図るため、3歳児健康診査を受診した幼児とその親を

対象にコンクール（3歳児の部、親と子の部）を実施し、歯及び口腔の優良な人を表彰した。また、全国で開催されるコンクールの一次審査を兼ねており、成績優秀者を、県南地区の二次審査に推薦した。

- ・会場 栃木保健福祉センター
- ・3歳児の部参加者 20人（県南地区への推薦は5人）
- ・親と子の部参加者 2組（県南地区への推薦は2組）

ウ フッ化物洗口

児童のう歯を予防し、歯の健康の保持増進を図るためフッ化物洗口を実施した。

- ・参加学校数 6校
- ・参加者数 811人

(5) 給付事業

ア 未熟児養育医療

出生時の体重が2,000g以下又は生活力が薄弱な未熟児に対し、指定医療機関に委託し、養育に必要な医療の給付を行った。（県からの権限移譲により平成25年度開始）

- ・給付認定者数 26件

イ 母子栄養食品支援事業

生活保護世帯又は市民税非課税世帯に属する妊産婦及び乳児に対して、心身の健全な育成を図るため、栄養の強化に必要な牛乳又は粉ミルクを無償で支給する。

- ・支給決定件数 1件

(6) 母子保健推進員活動

市が委嘱した母子保健推進員（141人）が、妊産婦や乳幼児等の家庭を訪問し、育児相談、乳幼児健診等の受診勧奨を行ったほか、地域の子どもと親同士の交流を図るため、地区公民館等でふれあいのつどい等を開催した。活動を通して地域と行政のパイプ役を担った。

- ・活動実績 (単位：件)

妊婦関係	乳幼児関係	計
591	1,214	1,805

成人保健係

1 健康増進計画推進事業

(1) 重点領域の推進

6つの重点領域（①栄養・食生活②身体活動・運動③喫煙④こころの健康⑤歯と口の健康⑥健康診査・検診）ごとに、ライフステージ別、関係機関別に取り組を行い、関係機関と連携し健康づくりを推進した。

ア 関係機関

健康増進計画推進部会員（保健医療、福祉、教育関係団体、公募による者等）及び庁内ワーキング構成員

イ 主な取組

- ・脳卒中予防に関する出前講座の実施、普及啓発
- ・健康まつりに合わせて小学生からポスター募集
- ・子どもの料理コンクール出展作品の発表会、「減塩野菜レシピ」「野菜摂取・減塩ちらし」を作成、配布
- ・食生活改善推進員協議会活動の推進
- ・ラジオ体操の推進（「ラジオ体操講習会」の実施、体操CD貸出）
- ・ちょこっとウォーク～スニーカービズ～の実施
- ・妊婦や未成年に対する受動喫煙を無くすための普及啓発、グッズの作成や配布
- ・禁煙相談機関の周知
- ・こころの健康相談、こころの健康サポーター研修会等の実施
- ・健康あっぷ講座、出前講座の実施
- ・健康診査・検診の実施

ウ 健康増進計画推進部会及び庁内ワーキング合同会議

健康増進計画中間評価、「歩く」を促進する取組について、健康増進計画推進部会員、庁内ワーキング構成員と話し合った。

・実施内容

月日	参加数 (人)	内容
第1回 8月1日	51	<ul style="list-style-type: none"> ・栃木市健康増進計画中間評価の結果について ・グループワーク 「これからの健康づくりの取り組みについて」
第2回 2月6日	42	<ul style="list-style-type: none"> ・団体、個人の健康づくりの取り組みについて ・グループワーク 「今年度団体・個人として取り組んだこと」 「今後、他機関と協力して取り組みたいこと」 ・「歩く」を促進する取り組みについて（身体活動・運動） ・グループワーク 「歩く」を促進する取り組みに関するキャッチフレーズ（標語）について 団体、個人としての取り組みについて

(2) 健康都市宣言の普及啓発

「あったかもちぎ健康都市宣言」の周知のため、各総合支所や公民館へのパネルの設置、懸垂幕やのぼり旗の設置、子育て世代への普及啓発として、9か月児健診の際に保護者958人に対してチラシの配布を実施した。

(3) 事業所と連携した生活習慣病予防事業

市内事業所と連携しながら、従業員を対象に壮年期の課題を含めた健康づくり事業を実施した。

ア 事業所への健康通信の送付

- ・回数 4回
- ・事業所数 44社

イ 出張型健康づくりの実施

- ・回数 7回
- ・参加者延べ数 284人
- ・実施内容 生活習慣病予防教室、運動教室、個別相談（栄養・禁煙）

2 健康づくり事業

(1) 特定保健指導等事業

特定健診受診者に対し、内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣の改善のため、運動・栄養等の保健指導を行った。

- ・会場 各保健センター

ア 特定保健指導

(ア) 実施回数（集団＋個別指導） (単位：回)

初回面接	中間評価	最終評価	合計
53	16	18	87

(イ) 実施状況

a 初回面接

区分	対象者数(人)	指導数(人)	実施率(%)
積極的支援	191	38	19.9
動機付け支援	676	181	26.8
合計	867	219	25.3

b 中間評価（初回面接から1か月半後）

区分	指導数(人)	
	令和元年度初回面接実施者	平成30年度初回面接実施者
積極的支援	20	36
動機付け支援	145	159
合計	165	195

c 最終評価（初回面接から3か月後）

区分	指導数(人)	
	令和元年度初回面接実施者	平成30年度初回面接実施者
積極的支援	20	40
動機付け支援	91	192
合計	111	232

イ メタボ予防運動教室 ～3回でマスター！～

- ・実施状況

回数(回)	特定保健指導該当者延べ数(人)	情報提供者延べ数(人)

27	16	204
----	----	-----

ウ 健診結果説明会

健診結果と生活習慣の改善方法を理解することを目的とし、説明会を行った。

・実施状況（個別指導）

回数（回）	参加数（人）
16	138

(2) 糖尿病性腎症重症化予防事業

糖尿病重症化予防を目的とし、6か月間の保健指導を行った。

ア 保健指導（外部委託）

- ・対象者 糖尿病腎症第2～4期の病期にある者（人工透析移行のリスクが高い者）
- ・実施状況 面談2回、電話6回
- ・プログラム終了者数 14人

イ 糖尿病予防教室～入門編～

- ・対象者 特定健診結果で糖尿病境界域段階の者
- ・会場 栃木保健福祉センター
- ・回数 5回1コース（年2コース）
- ・参加者延べ数 224人

ウ 糖尿病予防教室～応用編～

- ・対象者 平成30年度糖尿病予防教室～入門編～受講者
- ・会場 栃木保健福祉センター
- ・回数 1回
- ・参加者数 22人

(3) 肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業

肝炎ウイルス検査で陽性と判定された者のうち、同意がとれた者に対し、年に1回調査票の送付等を行い、医療機関の受診状況や診療状況の確認と、必要に応じて電話等による受診勧奨を行った。

	対象者（人）	同意者（人）	フォロー数（人）	終了者数（人）
令和元年度	3	2	7	4
平成30年度	7	7	17	0
平成29年度	15	11	10	1
合計	25	20	34	5

(4) 健康教育

ア 健康あつぷ講座

一般市民を対象に生活習慣病に関連する歯周病の講話を行った。

- ・回数 2回
- ・参加者延べ数 33人

イ 中学校における歯と口の出前講座

中学生とその保護者を対象に、歯と口の健康についての講話とブラッシング指導を行った。

- ・回数 4回
- ・参加者延べ数 556人

ウ ラジオ体操講習会

一般市民及び市民大学参加者に対し、ラジオ体操の講話と実技指導を行った。

- ・回数 2回
- ・参加者延べ数 109人

エ 出前講座

地域や団体に対し、健康教育を行った。

区 分	回数（回）	参加者延べ数（人）
ロコモ	9	170
口腔	9	201
健康増進計画	7	126
脳卒中	3	41
熱中症	4	69
ロコモ・脳卒中	1	50
合 計	33	657

(5) 健康相談・栄養相談・禁煙相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、保健師・管理栄養士が必要な指導及び助言を行った。

- ・実施回数 24回
- ・相談者延べ数 26人

(6) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、管理栄養士が個別に慢性疾患の病態に応じた栄養指導を実施し、疾病の早期回復を図った。

- ・実施回数 6回
- ・相談者延べ数 6人
- ・指導内容(延べ件数) (単位：件)

糖尿病	脂質異常症	高血圧	肝臓病	腎臓病	計
5	3	3	0	0	11

(7) 脳卒中啓発プロジェクト

脳卒中予防に関するチラシを特定保健指導、健診結果説明会、出前講座、健康まつり、ラジオ体操講習会、糖尿病予防教室で配布した。

- ・配布数 858枚

(8) 熱中症対策

ア 熱中症予防の普及啓発

熱中症予防に関するチラシやうちわ、ポスターを集団健診、クールシェアスポット、出前講座、3歳児健診、母子保健推進員による家庭訪問、食生活改善推進員会議等で配布した。また、本庁舎において暑さ指数を活用した熱中症注意情報の掲示を行った。その他、広報とちぎ、会報ウェルワーク栃木、市ホームページ、FMくらら、ケ

ーブルテレビ文字放送等で情報発信を行った。

- ・チラシ等配布数 約6,800枚
- ・熱中症注意情報の掲示回数 34回

イ 防災無線放送を活用した注意喚起

栃木県に高温注意情報が発表された場合や週末の暑さが予想された場合に防災無線で周知した。また、TwitterやFacebookにも掲載した。

- ・防災無線放送の回数 17回

3 自殺予防対策事業

(1) こころの健康相談

こころの悩みの軽減及び自殺予防を図るため、カウンセラーによるうつ、ストレス、不眠等のこころの健康相談を実施した。

- ・会場 栃木保健福祉センター、太平健康福祉センター
- ・実施回数 23回
- ・相談件数 65件

(2) こころの健康サポーター(ゲートキーパー)養成研修

図書館職員、少年補導員、第4地区民生委員・母子保健推進員、人権擁護員協議会を対象に、住民の身近な相談者として、こころの健康サポーター(ゲートキーパー)の役割を理解することで、こころの悩み・サインに気づき、自殺予防を図ることを目的に、研修会を実施した。

- ・実施回数 4回
- ・参加者延べ数 90人

(3) 自殺予防普及啓発キャンペーン(県共催)

自殺予防等の正しい知識の普及啓発と身近な相談機関の周知を図るため、街頭において自殺予防の啓発グッズや相談窓口一覧を配布した。

- ・会場 栃木駅
- ・実施回数 1回
- ・配布数 1,000人分

(4) メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」

パソコンや携帯電話を利用して、自分のこころの健康状態をチェックし、気軽に相談できる窓口を知ること、こころの疾患の早期発見・早期予防につなげることを目的に、こころの健康状態がわかるメンタルヘルスチェックシステムを市のホームページに設置した。

- ・アクセス数 20,867件

4 地域保健対策推進事業

(1) 栃木市健康づくり推進会議

市民の生涯を通じた健康の実現を目指し、市民一人ひとりの主体的な健康づくり活動に関係機関、関係団体、行政等が協働して支援し、住民に密着した総合的な健康づくり対策事業を推進するため、会議を実施した。

ア 関係機関

保健医療、福祉、教育関係団体、公募による者等

イ 会議開催

月日	参加数(人)	内容
第1回 8月8日	13	・ 栃木市保健事業について ・ 栃木市健康増進計画中間評価について ・ 3歳児健診の眼科健診における屈折検査について
第2回 1月23日	15	・ 令和元年東日本台風による救護班の活動報告 ・ 風しん追加的対策事業について

(2) 食生活改善事業

食生活改善推進員（115人）が、地域における食生活改善推進のため、講習会や食育活動等の普及啓発を行った。また、会員相互の連携及び交流を図るため、研修会や交流会及び支部活動を実施した。

ア 栃木市食生活改善推進員協議会活動

・ 実施状況

区分	内容	実施回数 (回)	会員参加数 (人)	一般参加者 延べ数(人)
事業	生活習慣病予防教室関係	1	10	17
	子どもの料理コンクール出展作品発表会	1	10	7
市事業 協力	3歳児健診時食生活アドバイス	31	146	2,010
	食生活改善推進員養成講習会 (調理補助)	4	25	60
研修会	全体研修会・事前研修会 交流会	4	195	-
会議	総会・理事会	5	117	-
	合計	46	503	2,094

イ 栃木市食生活改善推進員協議会支部活動

・ 実施状況

内容	実施回数(回)	会員参加数(人)	一般参加者 延べ数(人)
しもつかれ講習会	1	6	18
他機関事業協力(試食提供等)	6	53	1,258
各支部研修会	6	73	-
自主活動・交流会	15	169	-
支部会	5	74	-
合計	33	375	1,276

(3) 食生活改善推進員養成講習会

地域における食生活改善の更なる推進のため、新たに会員を養成して会の活性化を図った。

- ・実施回数 5回
- ・参加実人数 15人
- ・参加者延べ数 73人

(4) 自主グループ活動支援

自主的な健康づくり活動の支援を行った。

- ・団体数 5団体
- ・実施回数 135回
- ・参加実数 126人

5 医療用ウィッグ購入費補助金交付事業

がん患者の治療と就労の両立、療養生活の質の向上に向け、がんの治療に伴う脱毛の悩みに対して支援するため、医療用ウィッグ購入費の補助を行った。

- ・交付実績 (単位：人)

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男	-	-	-	1	-	-	1	-	-	2
女	-	1	-	4	4	18	18	17	2	64
合計	0	1	0	5	4	18	19	17	2	66

- ・交付額 1,953,700円

6 地域看護

妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。

- ・保健師訪問指導数 3,519人
- ・内訳 (延べ人数)

(単位：人)

妊産婦	新生児	未熟児	乳幼児	小児慢性 特定疾患	精神 保健	生活 習慣病	他の 疾患	その他
1,874	202	7	1,261	7	22	29	0	117

※その他：小学生、中学生、高校生、その他学生、成人等に対するものを計上